

別記様式（第5条関係）

会 議 録

会議の名称		令和7年度 第2回 福津市中小企業振興審議会
開催日時		令和7年12月19日(木) 13時30分から 15時00分まで
開催場所		福津市役所 別館1階 大ホール
委員名		(1) 出席委員 九郎丸 宏一、安武 美歩、田畑 博規、高田 和久、 酒見 勇次、秋山 伸彦、片岡 礼子、増田 美佐子、 望月 啓太郎 (2) 欠席委員 松田 晋介
所管課職員職氏名		経済産業部長 高山 康和 経済産業部商工振興課長 梶原 龍生 経済産業部商工振興課商工振興係長 甲斐 小百合
会 議	議 題 (内 容)	・令和7年度商工振興事業内容について ・令和8年度商工振興事業内容の検討について
	公開・非公開の別	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 非公開 <input type="checkbox"/> 一部公開
	非公開の理由	—
	傍聴者の数	1名
	資料の名称	・令和7年度 第2回福津市中小企業振興審議会 次第 ・資料1 評価指標進捗管理表 ・資料2 令和8年度 創業サロン企画案 ・資料3 福津市中小企業融資制度 令和7年度福津市事業承継支援事業チラシ 令和7年度福津市中小企業融資制度チラシ
会議録の作成方針		<input type="checkbox"/> 録音テープを使用した全文記録 <input checked="" type="checkbox"/> 録音テープを使用した要点記録 <input type="checkbox"/> 要点記録 記録内容の確認方法 会長が指定した委員による確認 署名 _____ 署名 _____
その他の必要事項		
審議内容 (発言者、発言内容、審議経過、結論等)		

1. 開会

(会長あいさつ)

2. 会議録の作成方針

要点筆記、会長が指定した委員2名（高田委員、酒見委員）による確認

3. 議事

(1) 令和7年度商工振興事業内容の進捗について

① 評価指標の中間報告

資料1を基に、基本計画の評価指標の令和6年度および令和7年度前期の実績について、事務局より説明を行った。

望月委員) (3) 新たな事業展開の促進を図るための施策の『IT専門家による支援者数』ではどんな支援が行われたのか。

高田委員) 商工会の事業であるため私から回答したい。市内事業者でもあるITの専門家を講師に招き、ホームページ作成などについて指導いただいた。

会 長) 私が商工会の相談員として受けた中にも、SNSを利用してお店の情報を発信したいという相談や、写真やブログによるプロモーションに関する相談等があった。

望月委員) SNSでの情報発信についてアドバイスする専門家もいるのか。

会 長) 専門家による助言を行っており、スマホを活用した販路開拓の支援もある。

望月委員) 小規模事業者が多いのでITの中でもサイト作成や情報発信といったニーズが多いようだ。

会 長) 福津市は飲食店やサービス業が多いことも関係していると思われる。

高田委員) 商工会での今年度10月までの実績でデジタルに関連する相談は520件ほどになっている。

酒見委員) 7つの指標があって、おおむね達成状況も順調だが(4)小規模企業者の事業の持続的な発展を図るための施策の『事業計画策定セミナー実施回数及び参加事業者数』は今年度後期の実施予定がないため、55%の達成率で完了となっている。告知をどのようにしたのか。また来年に向けて在り方を見直す予定があるか。

高田委員) 商工会ではHPやチラシで告知をしたり、会員には個別に案内もしている。

酒見委員) 今後、商工会会員以外に広く伝えるために市のHP等でも告知するなど、検討をお願いしたい。

高田委員) 様々な事業で順調に進んでいるが、特に経営革新計画は今年度11月末時点で13件となり、県下で2番目に多い件数となっている。

② 事業承継セミナー

令和8年1月19日に開催する「スマイル承継セミナー」について、事務局より説明を行った。

望月委員) 事業承継の対象になる方がどのくらいいるのか既に見えているのか、これから把握していくのか。

事務局) 計画策定のために実施したアンケートの中で、事業承継に関する設問では事業承継について関連知識を身につけたいとの回答が30%を超えている。今回セミナーを実施してどのくらいニーズがあるのか効果を検証したいと考えている。

片岡委員) 事業承継という言葉がまだわからなくて不安があると思う。事業承継って何?というところを始めるのはいいことだと思う。

高田委員) 事業承継には「経営者の死去」や「負債による事業の売却」などのマイナスのイメージがあり、難しい部分がある。

事務局) 事業承継には負のイメージがあるので、今回は挑戦的ではあるが、「未来を笑顔でつなぐ」をサブテーマに「スマイル承継セミナー」というタイトルで行う。まずは事業承継について知ってもらい、福岡県事業承継・引継ぎ支援センターを紹介する場としたい。参加者にはアンケートをとり、何をきっかけに参加しようと思ったのか、何を知りたくて参加したのかは検証し、次回の審議会で報告を行う予定としている。

(2) 令和8年度以降 商工振興事業内容の検討について

① 創業サロン

資料2を基に、創業サロン企画案について、事務局より説明を行った。

望月委員) ターゲットによって、効果的な内容が変わってくると思う。ターゲットとしては子育て世代や、シニアのセカンドキャリアなどでニーズがありそうだと感じる。

事務局) 現状で創業支援の相談件数や補助金の申請件数については多いので、これから創業したい人のニーズはあると考えている。一方で、すでに創業した人が身近なところで相談しあい解決できる関係づくりを目指すのも一つの在り方と考えている。

望月委員) サロンではきっかけを提供し、あとは参加者が自らコミュニティを作って自走していくことが理想的。価値観や事業形態が多様化しているので、コミュニティはたくさんあっていいと思う。

安武委員) 企画案のうち、アイデアづくりのワークはなかなか難しいと思う。市内で創業した人の話を聞いて、参加者同士が交流しネットワーク作りの場にするのがよいのではないか。

高田委員) 具体的に創業を目指す人は、自ら商工会に相談に来ている。その前段階の人をターゲットに、交流会のようなものを開いて、必要な人には商工会を案内してもらえればいいと思う。

② 福津市中小企業融資制度

資料3を基に、福津市中小企業融資制度について、事務局より説明を行った。

秋山委員) 先日、商工会主催で金融機関等情報交換会があり、融資限度額については、現在の500万円から増額したほうがよいと意見がでた。物価高の影響もあるので、上限が1000万円程度であればより使い勝手もよいとの意見は、全会一致となった。預託金については引き上げが必要かどうかなどその場では回答ができないので、それぞれが持ち帰り資料3のとおり意見をまとめることとなった。

高田委員) すべての金融機関と一緒に話をするのは難しいので、市が提案をして、乗れるか乗れないか、今後は実施できない金融機関も出てくるのも仕方がないのでは。上限を1000万円にするのは必要。

望月委員) 限度額を引き上げることで、ニーズが増える見込みはあるのか。

秋山委員) 現在の500万円では金額的に合わないために県の制度融資を利用している事業者もいるので、限度額が上がれば条件のよい市の制度を利用する事業者は増えると見込まれる。

会 長) 預託金を増やすのが一番いいのでは。

事務局) 限られた財源の中で、最大限有効活用し、効果的な制度であるように検討したい。一行あたりの預託金額ではなく、利率を調整する方法も考えられる。いただいたご意見を参考に検討し、金融機関と調整を行う。

酒見委員) 必ずしも現在の5行全行で実施する必要もないので、丁寧に説明をした上で合意を得た金融機関のみで実施してもよいのではないかと。

秋山委員) 事業者のための制度なので、事業者にとってよい制度になればと思う。

4. 連絡事項

望月委員より「StartupWeekend」「ママドラフト会議」の紹介

酒見委員より「福岡県中小企業DX推進センター」の紹介

事務局より次回開催について連絡

5. 閉会

(経済産業部長よりあいさつ)